平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	福祉行財政と福祉計画 (Social Welfare Administration and Planning)			授業コード	E042451
担当教員名	野中　義光			科目ナンバリングコード	E30902
配当学年	3	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件					
受講心得	聴くこと、見ること、調べること、真剣に考え、取り組むことを心がけてください。				
教科書	新・社会福祉士養成講座１０ 「福祉行財政と福祉計画」				
参考文献及び指定図書					
関連科目	社会福祉原論、地域福祉論、高齢者福祉論、障害者福祉論、地方財政論				

授業の目的	現代の社会福祉サービスや支援は、国が基本的な政策の方向を示すものの、市町村をベースとし、行政担当者とサービス利用者である住民及び事業者が参加して立案計画に基づいて実施することが求められるようになっています。 　　この科目では、社会福祉の実践を支える制度的な枠組みである福祉行財政と福祉計画について理解することを目標とします
授業の概要	授業の目的と同じ。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション・社会福祉と行政の関係 本講義の目的、到達目標及び授業計画等について説明します。 社会福祉と行政の関係について概説します。	
第 2 週 ： 社会福祉概念の変化 時代の変遷とともに、社会福祉のとらえ方も変化してきました。我が国の歴史を通して社会福祉概念の発展と到達点について学びます。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第 3 週 ： 社会福祉法制度の発展 我が国の社会福祉では、国、地方公共団体の役割が大きく、福祉サービス提供の考え方や方法は社会福祉法をはじめとする社会福祉関係法に詳細に規定されています。社会福祉法制度の全体像とその発展について学びます。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第 4 週 ： 福祉計画の概要 平成に入ってからわが国の社会福祉では、サービスの分野ごとに中・長期計画が策定されている。福祉計画の概要について学びます。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第 5 週 ： 福祉行政の概要 ２０００年４月に施行された「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」によって、国と地方公共団体の関係が変化しました。地方分権一括法の理念と社会福祉行政の考え方について学びます	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる

第 6 週 ： 財政と社会福祉 財政や予算制度などの基礎的な知識の理解と社会福祉の財政について概説します。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第 7 週 ： 福祉財政の概要 福祉サービスを供給するうえで必要な財源と国と地方自治体の財政のポイントについて概説します。国の社会乾しよう関係費、地方の民生費等並びに民間資金等についても学びます。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第 8 週 ： 福祉行政の組織・団体と専門職の役割 福祉行政を担う国と地方公共団体の関係、社会福祉制度の実施を担う団体や組織とそこに携わる専門職の役割について学びます。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第 9 週 ： 福祉行政の組織・団体と専門職の役割 福祉行政を担う国と地方公共団体の関係、社会福祉制度の実施を担う団体や組織とそこに携わる専門職の役割について学びます。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第10週： 福祉計画の意義と目的 国、都道府県、市町村で策定される各種計画について、計画の目標や各計画間の関連や意義について学びます。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第11週： 福祉計画の理論と技法 福祉計画の概念や類型、計画の課程モデルととくちょう、ニーズ把握の技法、計画の評価、住民参加等福祉計画の目的・目標を実現するための技法について学びます。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第12週： 福祉計画の理論と技法 福祉計画の概念や類型、計画の課程モデルととくちょう、ニーズ把握の技法、計画の評価、住民参加等福祉計画の目的・目標を実現するための技法について学びます。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第13週： 福祉計画の実際 高齢者保健福祉十ヵ年戦略（ゴールドプラン）から介護保険事業計画にいたる高齢者分野における計画、障害者計画・障害福祉計画の概要について学びます。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第14週： 福祉計画の実際 自治体において策定された事例に基づいて、策定状況、計画策定の要点等について学びます。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第15週： これからの福祉計画のあり方 計画の策定事例を参考にこれからの計画策定のあり方について学びます。	予習：教科書を読んでおくこと　復習：配布資料、板書をもとに要点をまとめる
第16週： 期末試験	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	社会福祉に係る行財政および福祉計画について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	福祉計画策定の技法について説明できる。
【思考・判断・創造】	福祉行政の推進のための課題、これからの福祉計画について考察することが出来る。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**50点**			
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**20点**			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**30点**			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	